令和３年度 農林水産関係試験研究事後評価結果（令和２年度終了課題）

大分県農林水産研究指導センター

【農業部門】

所属名	課　題　名	研　究　結　果	評価結果
農業研究部	夏秋ピーマンにおける天敵を主体とした害虫防除体系の構築	・アザミウマ類の発生実態、薬剤感受性を再評価(普及カード) ・タバコカスミカメの放飼方法とヒラズハナアザミウマへの防除効果を確認 ・天敵温存植物の選定	・成果の普及 ・次期計画に反映
	平坦地に適した根深ネギべと病の防除技術の確立	・有効薬剤の選定、防除体系の構築(普及カード) ・新ネギ及び初夏ネギ作型におけるマンゼブ含有殺菌剤の防除適期を評価	・成果の普及
	夏秋ピーマンの省力多収栽培技術の確立	・ヤシガラ培地の特性を解明(普及カード) ・低コスト省力栽培システムの開発	・次期計画に反映
	大苗利用による根深ネギの夏越し及び初夏どり作型の生産安定技術の確立	・大苗育苗の肥培管理、品種と播種時期を解明(普及カード) ・簡易型大苗育苗マニュアルを作成	・成果の普及
農業研究部 水田農業 グループ	麦栽培期間中の堆肥投入による水田地力回復技術の確立	・麦栽培期間中の堆肥投入による地力回復指標を作成 ・外来雑草の水田転換畑への侵入リスクの評価と生態の解明 ・普及カード(麦生育期の牛ふん堆肥散布技術)を作成	・成果の普及
農業研究部 果樹 グループ	ハウスミカン栽培における適正水分管理技術と省力･高収益栽培技術の開発	・新たな水ストレス指標の確立 ・簡易な計測項目に基づくかん水モデルの確立 ・平坦地に対応した収穫・運搬台車の開発	・成果の普及 ・次期計画に反映
	水田転換に対応した新たな落葉果樹栽培技術の開発	・現地事例調査の土壌と果実品質の解明 ・品目別(ナシ・ブドウ・キウイフルーツ)の耐水性の解明 ・ブドウ２段仕立てにおける生育と果実品質の解明	・成果の普及 ・次期計画に反映
農業研究部 花き グループ	花き類の難防除病害防除技術の構築	・キク白さび病の現地発生消長を解明 ・キク白さび病に対する防除薬剤を選定 ・トルコギキョウ斑点病に対する防除薬剤を選定	・成果の普及 ・次期計画に反映
	マーケットニーズに対応した高収益生産技術の確立と新たな花き品目の探索	・コギクの電照栽培における適正品種を選定 ・少量培地栽培に適した花き品目を選定 ・少量培地栽培周年出荷マニュアルを作成	・成果の普及 ・次期計画に反映

※農業部門　９課題

【畜産部門】

所属名	課　題　名	研　究　結　果	評価結果
畜産研究部	県産飼料の利用率を高めた肥育体系の開発	・籾米サイレージ(ＳＧＳ)の利用技術の開発 ・飼料代の低減に向けて濃厚飼料の代替方法検証	・成果の普及
	乳用牛における分娩間隔の短縮に向けた「発情検知システム」の開発	・発情における膣温、膣内電気抵抗値の解明 ・民間企業により商品化の予定	・公社等への技術移転
	未利用「麦焼酎粕ケーキ」混合物の飼料化技術の開発	・麦焼酎粕ケーキの飼料としての品質を確認 ・麦焼酎粕ケーキの利用技術の開発 ・飼料代の低減に向けて濃厚飼料の代替方法検証	・成果の普及
	未利用資源（モヤシサイレージ）を利用した豚の低コスト肥育技術の確立	・モヤシサイレージの利用技術の開発 ・飼料代の低減に向けて濃厚飼料の代替方法検証	・成果の普及
	商品性の高い「おおいた冠地どり」を支える増体向上技術の開発	・おおいた冠地どりの生産性改善技術の開発	・成果の普及

※令和2年度完了課題「黒麹菌給与による家畜の生産性改善技術の確立」については、供試頭数が少なく、同一試験区内の個体採食量に偏りがある可能性があったため、事後評価から除きました。

※畜産部門　５課題

【林業部門】

所属名	課　題　名	研　究　結　果	評価結果
林業研究部	スギ推奨品種さし木苗の増産に関する研究(Ⅱ)	・普通穂＋ミニ穂の採穂技術及び夏、秋挿しの育苗技術の確立 ・普及用パンフレットの作成	・成果の普及 ・次期計画に反映
	再造林に欠かせないシカ害防除技術の確立	・ドローン搭載カメラによる防護柵点検手法の検討 ・ツリーシェルターによる成長促進効果とシカ害防止効果の検証	・成果の普及 ・次期計画に反映
	非住宅分野の木造化に対応する大断面製材品の強度性能評価	・乾燥方法及び断面寸法毎の強度特性を検証 ・縦圧縮で寸法効果パラメータ(0.3335)の算出	・成果の普及 ・次期計画に反映
	寸法安定性の高い高品質乾燥材生産技術の開発	・高周波蒸気複合乾燥による含水率15%乾燥技術の確立 ・高周波減圧乾燥によるスギ平角材等大断面材乾燥の有効性を検証	・成果の普及 ・次期計画に反映
林業研究部 きのこ グループ	原木シイタケの単収向上を目指した２年目発生操作技術の確立	・夏期の高温影響と散水管理の検証 ・単収向上のための散水、打木等の発生操作技術の確立(普及カード)	・成果の普及
	LEDを活用した菌床シイタケ栽培技術の開発	・LED照射による培養期間、発生量、機能性成分の影響を調査 ・培養期間短縮のためのLED照射技術の確立	・成果の普及

※林業部門　６課題

【水産部門】

所属名	課　題　名	研　究　結　果	評価結果
水産研究部	タチウオ資源回復に向けた受精卵放流および種苗生産技術の開発	・タチウオ受精卵放流手法及び種苗生産技術の検討 ・タチウオ資源解析に関わるパラメータの検討	・成果の普及 ・その他（研究継続が一部困難）
	新たな高品質かぼす養殖魚の開発	・かぼすヒラマサ、かぼすトラフグの生産技術の開発 ・かぼすヒラマサの優位性を示す科学的根拠の確認	・成果の普及 ・次期計画に反映
	ICTの活用と農水連携による赤潮対策技術の開発	・ICT技術を用いたリアルタイム赤潮監視体制の構築 ・アオサ等を用いた堆肥による漁場改善技術の検討	・成果の普及 ・次期計画に反映
水産研究部 北部水産 グループ	人工種苗ロープの開発によるヒジキ養殖技術の確立	・人工種苗の中間育成時、塩分濃度1/2海水で珪藻類の繁茂抑制が可能と判明 ・養殖ロープを越年利用するには、養生適地は香々地と判明 ・人工種苗の量産化に向けて、受精卵を大量確保する技術が確立	・次期計画に反映

※水産部門　４課題

（合計２５課題）